

追手門学院大学

校友会会報



第67号
平成21年(2009年)4月15日
発行者 〒567-8502
茨木市西安威2-1-15
追手門学院大学校友会
会長 平野 昌雄
電話 072-643-6135
FAX 072-643-6099
©2007 編集責任 蟻柴 潤一

会長に平野氏留任

前号告知の通り異議申し立て期間経過後、候補者に評議員主任承諾書を送付しましたところ四名の辞退があり、三十九名の方に評議員に就任していただきまし

た。
さる三月二十九日に第一回評議員会が開催され、理



挨拶

校友会会長 平野 昌雄

平素は、校友会活動にご理解、ご協力を賜り誠に有り難うございます。

引き続き今期も会長を務めることになりました。校友会活動には、長期にわたって関わっておりますが、今回も会長という立場から四年間校友会活動に従事していくことになりましたのでよろしくお願いいたします。

校友会は、四万二千人の

事二十名を選出しました。

続いて理事会がひらかれ平野昌雄氏を推挙、承認され、評議員会で了承されました。

副会長等および事業計画案は四月二十六日の理事会で審議されます。

会員を擁する大きな組織になってまいりましたが、校友の親睦交流のみならず、「少子化」を主因として教育界も大変厳しい環境に置かれており、母校も例外ではありません。母校の発展の為、ステークホルダーの一員として母校をサポートする組織になる必要があります。

そのためには、若年層や女性の積極的な参加を促すことが、校友会活動を一層活性化させることになると考えています。個々の力は微力であっても、全員が集結すれば大きな力を発揮することができま。皆様には、一人でも多くの方が校友会活動にご参加いただ

新役員次の通り

るようご協力をお願いいたします。
今年度の活動方針としては、校友会組織の確立、活動の活性化、母校との協力関係の強化、支部活動の再構築、現役学生の組織で

ある学友会との連携強化を中心に考えております。
この四年間、校友会のさらなる発展の為会員の皆様と共に活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

会長

平野 昌雄 (七十・経経)

理事

- 岡田 宏 (七十・経経)
- 大橋 陽一 (七十・経経)
- 林田 隆行 (七一・文社)
- 蟻柴 潤一 (七四・文社)
- 下村 忠功 (七五・経営)
- 生川 紳一郎 (七五・経営)
- 賛田 肇 (七五・経営)
- 吉田 浩幸 (七五・文社)
- 岡本 眞弘 (七六・経経)
- 美濃 岡伸也 (七六・経営)
- 宮本 幸治 (七六・文英)
- 森 嘉一 (七六・経経)
- 川崎 昭一 (七七・文心)
- 藻川 芳彦 (七七・文社)
- 淵上 嘉彦 (八十・経経)
- 野出 靖宏 (八三・経経)
- 大塚 高司 (八九・経営)
- 高本 優一 (九一・経経)
- 矢島 秀和 (〇三・文東)

評議員

- 萬代 治 (七〇・経経)
- 小坂井俊夫 (七一・経経)
- 福井 教男 (七二・経経)
- 西崎 泰司 (七三・文東)
- 永井 秀明 (七四・経営)
- 山口 人士 (七五・経経)
- 中井 隆 (七六・経営)
- 古橋 忠男 (七六・経営)
- 青木 敬 (七七・文社)
- 井上 晶子 (七七・文社)
- 越智 英二 (七七・文英)
- 藤尾 正弘 (七七・経営)
- 八木 彰彦 (七七・経経)
- 岡本 一美 (七八・経営)
- 廣内 裕子 (七八・文英)
- 喜多 博 (七九・経営)
- 恒川 鈴子 (八〇・文心)
- 渡邊 一則 (八一・文社)
- 鈴木 圭史 (九八・経営)

任期・二〇〇九年四月一日、二〇一三年三月三十一日

(敬称略)

大学の さらなる発展に ご協力を!

学長 鈴木多加史

追手門学院は二〇〇八年に創立一二〇周年を迎えました。大学は学院創立八〇周年記念事業の一環として一九六六年に経済学部、文学部の二学部で創立されましたが、現在では経済学部、経営学部、心理学部、社会学部、国際教養学部の五学部、および大学院四研究科六専攻に合計六、三〇〇有余人の学生が集う中堅の文系総合大学になりました。

大学創立以来四十数年、第一回卒業生が還暦を過ぎ、定年を迎えられる方も出るようになりました。大学卒業生である校友会の正会員数も四万二千人弱に達して、大学にとりましては非常に重要なステークホルダーとなりました。その校友の皆様のお力も借りながら大学のさらなる発展を図りたいと考えております。

大学は今非常に厳しい局面に立たされております。

少子高齢化が進む中で文教政策の転換によって大学数は激増し、今や大学の半数弱が定員割れを起こす一方で、少数の大手校に志願者が集中するという現象が起こっています。

その中で追手門学院大学はこの数年志願者数がやや減少してはおりますが、総体としては定員割れなどは起こさずに推移してまいりました。学部学科の再編、校舎など施設の充実を図ってきたことの成果であろうと思われませんが、決して樂觀できるような状況ではありません。学部学科別に見れば定員確保の面で非常に厳しいところがあるのも事実ですし、入学してくる学生の中に基礎学力や意欲の面で問題がある者が見受けられることもまた事実です。

将来計画の「追手門ビジョン一二〇」の中の大学ビジョンで、教育力の向上、学生中心の大学、就職力の強化を推進することをうたいました。何よりも学生のために、ということとで施策を進めるつもりです。

生涯教育が言われる時代に、本学もさまざまな形に対応しようとしてお

ります。校友の皆様も科目等履修生で勉強できますし、学士入学制度(本学の卒業生なら他学部にも編入できる)もできました。大学院でもさまざまな形で勉強できる形を整えようと準備中です。お子様たちの進学先として、ご自身のさらなる勉強の場として、追手門学院大学を一層ご活用くださいますことをお願いしてご挨拶いたします。

活発な活動を

理事長 大木 令司

学校法人は在校生、卒業生、その保護者、教職員など多くのステークホルダーによって支えられた社会的公器であります。先人達によって築かれた輝かしい歴史を背負い、将来に向けてこの学院を力強く発展させるためには、現在、ステークホルダーの一員としてこの学院に関わっている方々が力をあわせ、一層の努力をしなければなりません。

独立行政法人化した国立大学や少子化による志願

者減に頭を痛める私立大学で、いま、同窓会活動の見直し、活性化がクローズアップされています。大学運営の上で、同窓会には、ステークホルダーの中でも極めて大きい役割が期待されているからです。

追手門学院大学校友会も大学創立四十三年を迎え、今や、会員四万二千人を擁する大きな組織となりました。平野会長のもと、健全経営に努められ、卒業時に終身会費を徴収する手法を採っておられるため、財政状態は極めて良好で、一二〇周年に際しては將軍山会館(校友会館)の建設をされました。しかし乍ら組織面、事務局体制、広報面では解決されなければならぬ問題も多く、本来の同窓会活動としてはやや弱いのではないかと懸念しています。とりわけ卒業時の会費徴収は財政的には好都合ですが、会員意識の希薄化という副作用を起こしています。これは、一二〇周年記念募金において、校友会員の募金が低調なことにもつながっていると思います。たとえ少額でも毎年会費を納めて頂き、それに見

合った同窓会活動、会員に対する広報活動ができるよう時間をかけてご検討頂きたいと思えます。学院側も校友会の活動をできる限り支援しますが、同窓会活動の中心は、やはり会員であり、会員のボランティア活動で支えられるべきものであります。將軍山会館も出来ましたし、第一期、第二期の卒業生の方々の中で、現役を退かれた方もいらっしゃると思えますので、是非、どなたか会館につめて頂き、とりわけ、地域別、年次別、クラブ別、ゼミ別などで催されている同窓会活動のリポートを通じて会員の消息を知らせる校友会報を、できれば毎月発行するような体制を作って頂きたいと思えます。

青春の貴い一時期を、この大学ですごした絆は何ものにも替え難い財産であります。この財産に更なる付加価値をつけられるのが同窓会活動であります。それには多くの卒業生がボランティア精神で力添え頂くことが必要であります。校友会員の皆様の一層のご協力をお願い致します。

新役員から

岡田 宏(一期生)

新しく理事を拝命いただきました岡田です。一期という高齢ですが、この二年間教育後援会のお手伝いをさせて頂いていました関係で、若い学生達との交流や、入学、卒業等に立ち会わせて頂きました。その経験を生かし、校友会の若返り等、未来に向けて前進するためのお手伝いをさせて頂く所存です。

会長、新理事、新評議員の皆様同様、宜しくお願ひ申し上げます。

吉田 浩幸(六期生)

校友会は、一期生が卒業された一年後の一九七一年(昭和四六年)に準備期間を経て結成されて三八年がたちました。私たちの任期の途中に結成四〇周年を迎えます。

「同窓生のための校友会」を目指して、校友会運営の改革をさらにより良き方向に向け推進して行きたいと存じます。そして、会員に親

しまれるような校友会に因かつて、微力ではありますすが頑張りたく思っております。

岡本 眞弘(七期生)

学友の推薦でこの度、理事を務めることになりました。追大にはなぜか勉強が好きな訳でもないのに、六年間も在籍してしまいました。大学での滞留時間、通学回数は本場に少なかつた。

二年生の時に留年、将来を少し真剣に考える必要に迫られ、税理士で糧を得ることを決意。

その後高井ゼミにお世話になり、会計学を学ぶ機会を得る事ができたことが、自分が税理士であることの原点であると考えています。今後は、社会で学んだことと経験したことを校友会の活性化に少しでもお役に立てればと考えています。

宮本 幸治(七期生)

私は二期目の理事就任にあたって、前回の反省も踏まえて努力目標にさせていただきます。校友会

役員の若返りをおこなうべき規程の見直し、大学校友会理念の表明と行事への参加の方法を検討すべきであると考えます。また、大学の近況をできるかぎり広報誌やホームページなどでお知らせすることが必要で、

大学校友会と卒業生との距離を身近にし、一人でも多くの卒業生が大学のサポートとして協力していただける体制づくりに微力ながら尽くしていきたいと思っております。

森 嘉一(七期生)

今回で理事三期目になります。その間、紆余曲折があり、ようやく校友会として安定してきた時期にきたように思います。ただ、校友会としての活動が十分かという点、まだまだこれからだと思っております。私自身、常任理事として、十分その役目を果たせなかったことについては深く反省しています。昨年、待望の將軍山会館(校友会館)が完成しました。卒業生の皆さんがいつ大学にいられても居場所ができたわけです。

ぜひ一度母校に帰ってきて欲しいと思います。

今後は、平野会長のもと、母校創立五十周年に向けたの事業計画、支部活動への積極的な支援、校友会執行体制の若返り、また、母校に対して、側面からの支援を進めたいと思えます。

藻川 芳彦(八期生)

今期も校友会役員に就任し、理事の末席に名を連ねることとなりました。随分長い期間、校友会の役員を務めておりますが、校友会活動の永續性を考えると、役員の新陳代謝の方法を本格的に検討する時期であろうと思っております。今回の役員候補の推薦時には、若い世代の方々が積極的に参加されることを希望します。また、今期の活動も、会員諸兄・姉の協力なしには出来ませんので、積極的なご協力をお願いする次第です。

岡本 一美(九期生)

校友会会員の皆様お変わりありませんでしょうか。この度、校友会新評議員

に就任させて頂きました一九七八年卒業、経済学部経営学科の岡本一美と申します。

これまでの校友会理事・評議員の方々が中心となり、会員の自主的な発想や行動を大切に、母校の発展と会員相互の親睦・発展に寄与していけるよう築かれてきた校友会が、会員の皆様にとつて、より身近なものに感じてもらえるように微力ながら努力したいです。

喜多 博(十期生)

皆さま初めまして、この度新評議員に就任します。今や高等教育は、エリート型、マス型、ユニバーサル型と変化して大衆化すれば学力は低下するという予測は現実になりました。校友会が生涯学習の機会を提供するという魅力的な役割を設けるのも近いことと思っておりますので微力ながらお手伝いさせていただきます。

恩師を訪ねて(5) 卒業生との交流

名誉教授 西川 仙之



追手門学院大学を定年で去つてまもなく六年。在籍は十二年でしたが、非常勤講師の時代もあったし、前任校で一緒だった先生方も多く親しみの持てる楽しい時代を送れたことを喜んでおります。大学で接した学生諸君の数はどのくらいか、講義を聴いてくれた学生諸君、ゼミの諸君、海外研修で一緒だった諸君等、いろいろの顔が浮かんできますが決して少なくはありません。

昨年夏、ゼミ生の一人から「ペルシャ」へ一緒に行きませんかと誘われ、革命三十周年の「イラン・イスラム共和国」へ行ってきました。半世紀以上も前、小生の受験期に持っていた世界史の本にあった「ペルセポリス」、写真にあった実物を目の前にしたときの

ちよつとした興奮、これがきっかけで、なんと三回目のイラン旅行から帰ったところですよ。何でもそんな危険な所へ行くのかといわれませんが行ってみたら平和な「優しい国」はまっています。大学で担当していた科目とはおおよそかけ離れた分野ですが、退職後の自由な身分、いろいろなところへ出かけては楽しんでいきます。彼も「先生」と一緒に旅行できるなんてと、喜んでくれています。

また別の例ですが、語学研修でCSULBへ一緒に行った女子学生の一人から「癒しの音楽」のレポートを貰い、話題の「サラ・ブライトマン」を紹介されて、これにもはまってしまいました。臨床心理士の彼女にとつては専門分野でしょうが小生には趣味の世界、気楽に音楽を楽しんでいて、いいものを紹介してくれたと感謝しています。

わずかな例ではありますが、小生にとつて専門分野とはまったく別のことでできた関係をもてるのもOGUのいいところではないかと喜んでいますが、このような「師弟関係」はもつと

あつてもいいのではないのでしょうか。

退職後、海外トレーニングにも何度か出かけましたが体力的には限界を感じ始めてやや焦り気味の毎日ではあります。しかし、退職直後一人身になって相談する相手も、またその必要もなく、即断即決で友人たちにもうらやましがられながらも健康で歩けるうちに、国内に限らず海外へも積極的に

活躍する校友(6)

滋賀県立安土城考古博物館
学芸員 神保 忠弘
(22期生)



私は、昭和六十二年(一九八六)に当時の文学部東洋文学科へ入学しました。はじめの一ヶ月は気ままな「学生生活」を楽しんでいました。考古学研究会へ入部したことが学生生活の転換期になりました。

まず、顧問の紹介で「発掘調査補助員」という職で発掘調査現場へ行くことが

に出かけています。

専門分野であった「情報処理」も機器の進歩が激しくついていくのは大変ですが、まだあきらめていないわけではなく、できる範囲で自前の機器の更新もやっています。時々大学の図書館の御世話になっています。訪問するたびに大学が変わっていて面食らっているというのが正直な所です。
(元経営学部教授)

できました。現地では同年代の学生とともに働き、休憩時間にはいろいろな話をして大きな刺激をうけました。また、東洋文学科では南出眞助先生のもとで地理学の基礎を学びました。そのときの講義ノートは、今でも私の講座の資料として活用しています。いづれも楽しい日々でしたが、このごろは作業の楽しさを目を奪われて基礎的な勉強をおろそかにしていたのではないかと、とも思っています。

しかしながら、このときの経験がなければ今の私は無かったでしょう。追手門学院大学卒業後は、滋賀大学の大学院に進み歴史地理

学を研究しました。平成五年には財団法人滋賀県文化財保護協会の埋蔵文化財担当職員として就職することができました。現在は滋賀県にある県立安土城考古博物館の学芸員として勤務しています。

博物館という名前をきくと、特殊な職場をイメージされるかもしれませんが、たしかに特殊な技能を必要とすることもあり、お客様の対応と企画の進行・調整という、ごく普通の業務が大きな比重を占めています。特に多いのが、手紙や電話などによる質問です。小学生の自由研究相談をはじめ、出版社や放送局による画像や資料の所在確認や利用許可の問い合わせまで、複雑多岐な内容の相談・質問があります。ときには専門外の質問を受けて戸惑うこともあつて、お客様からお叱りをうけることもあります。

現在は、研究成果の少なさがマイナスとなつて、企画立案などが振るわず苦戦を続ける毎日です。今後もう少しずつ研究を積み重ねねばならないことを痛感しています。

將軍山会館にての催し物(企画展示)のご案内

一・尾崎 潤 氏

(文学部東洋文化学科)

二〇〇一年卒業三十二期生

の絵画展

六月十六日(火)から六月二十二日(月)まで、將軍山会館にて絵画展を催します。

一九七八年に大阪で生まれ、シンピとフシギをテーマに、独自のファンタジーの世界を描きつづけられている。CDジャケット制作に関わる一方で、絵かきとして筆を持つ日々を送られている。また、個展などを開いて、その会場にてライブ・パーティーを開催するなど多彩な活動をされています。

開催期間：六月十六日(火)から六月二十二日(月)まで、二十一日の日曜日は開館しません。

開催時間：九時三十分～十七時まで、土曜日は十三時までです。

開催場所：將軍山会館(第一会議室)

プロフィール

名前 尾崎潤 1978生 男 大阪在住
 追手門学院大学文学部東洋文化学科インドイスラム文化コース卒

2000年 大阪、神戸、京都のフリマに参加する
 2003年 3月 大阪北堀江ART HOUSE 初個展「kareeda vol.1」
 7月 京橋Mb「kareeda vol.2」
 2004年 2月 ART HOUSE「初恋」(グループ展)
 8月20日～30日 新風舎・大阪ギャラリーにて「絵本発売記念展」
 9月2日～7日 ART HOUSEにて「絵本発売記念展」
 9月25日 絵本「カレエダ～いつかの森で」(新風舎) 発売
 2005年 2月27日～3月7日 大阪南港ATCクリエイターズスーパ「kareeda vol.5」
 2006年 1月 京都OPAミュゼ「シンピとメルヘン」
 2007年 5月24日～6月5日 ART HOUSE「kareeda vol.6 音楽散歩」
 8月 ART HOUSE「7展」(グループ展)
 2008年 11月10日～11月17日
 南船場アンツシーンにて「kareeda vol8三角銀河で見つけたわっか」
 2009年 「2009・ZERO展」入選

★また絵を描く一方でCDジャケット製作 (DEADPHONES、HOSOME、月夜など) にも関わる。
 ホームページ <http://uruo.net/>

「作品コンセプト」

おもに神秘的で不思議な世界を描いています。神秘と不思議といっても重すぎず、暗すぎず、どこ

かで温かみがあつて落ち着けるような、実際の自然にも通じるような世界観がテーマになっています。

尾崎 潤 氏 作品



二・クラブ活動の歴史展

写真で繋ぐ・今と昔

秋のホームカミング・デーに向けまして、校友会所属団体のクラブ活動等の

歴史的なものを表す活動風景写真や当時のクラブユニホーム・器具・用具・楽器等を展示します。そのためには、卒業生のみなさんからのご協力なしには開催できません。学生時代の思い出の写真・ユニホーム等をお持ちの方の出展協力をお願いいたします。お借りいたしました品物は責任を持ってお返しさせていただきます。なお、展示用パネル等の作成やディスプレイ作業を行うため七月三十一日までに庶務課までお送りいただければ幸いです。

問い合わせ先…庶務課
〇七二・六四一・九六六八

追手門学院大学 アワーを開催します!

今年度より卒業生と現役学生の保護者、高校教員を対象とした大学主催、校友会・教育後援会後援による「追手門学院大学アワー」を神戸・京都・金沢・和歌山・岡山の五ヶ所で開催することにになりました。会員の皆様におかれましては、ホームカミング・デーの学外版として旧交を温めていただくと共に、現役学生の保護者の方や地元の高校の先生と交流を深めていただき、地域の校友会組織の活性化に繋げていただきたく存じます。

各会場とも参加費は無料となっておりますので、どうぞお気軽に参加いただければと存じます。また大学から懐かしい先生方もご出席いただきます。
開催場所・催し内容・参加方法等につきましては次のとおりです。

○神戸 六月五日(金)

於ニューオータニ神戸ハー

バーランド

【講演会】一六時〜一七時

三〇分

演題 「若者の生きる力を育てるために―激変する社会におけるキャリア支援―」

講師 三川 俊樹(本学キャリア開発部長・心理学部教授)

【交歓会】一八時〜一九時

三〇分

○京都 六月二十四日(水)

於京都センチュリーホテル

【講演会】一六時〜一七時

三〇分

演題 商人としての学び「人はなぜ働き、なぜ生きるのか?」

講師 藤尾正弘(株式会社フジオフードシステム社長・本学客員教授)

【交歓会】一八時〜一九時

三〇分

○金沢 六月二十八日(日)

於ANAクラウンプラザホテル金沢

【講演会】一四時〜一五時

三〇分

演題 「若者の生きる力を育てるために―激変する社会におけるキャリア支援―」

講師 三川 俊樹(本学キャリア開発部長・心理学部教授)

部教授)

【交歓会】一六時〜一七時

三〇分

【和歌山】八月二十二日(土) 於ホテルグランヴィア和歌山

【講演会】一四時〜一五時

三〇分

演題 今どきの大学―外から見た追手門学院大学―

講師 小畑 力人(和歌山大学観光学部教授)

【交歓会】一六時〜一七時

三〇分

【岡山】九月十二日(土)

於ホテルグランヴィア岡山

【講演会】一六時〜一七時

三〇分

演題 「追手門学院大学の心理学」

講師 井上(稲垣)知子(本学心理学部長・心理学部教授)

【交歓会】一八時〜一九時

三〇分

参加方法…参加ご希望の方は、任意の書式にてご氏名(姓の変更がある場合は旧姓も)、卒業年、卒業学部学科、ご住所

お電話番号を明記の

上、校友会事務局宛にFAXにてお申し込み願います。尚、お電話でのお申し込みは受付出来ませんのでご了承願います。
FAX番号
〇七二(六四一)九六六四
交歓会からの参加も可能です。

将軍山会館入館者 三千人達成!

昨年六月二十八日に開館以来、四月八日をもって、将軍山会館に三千人の方々をお迎えいたしました。



記念品贈呈風景

三千人目の本学国際教養学部二年の永野佑樹さん、同じく田村武士さんには、校友会から記念品が贈られました。

大阪城スクエア 教養講座のご案内

大阪城スクエア(大手前中・高等学校本館六階)では、四月から保護者や一般の方を対象とした教養講座を開講します。
英会話、韓国語といった語学講座から、ウォーキング・グレッソン、親子で楽しむ講座などメニューはさまざま。

詳細は
〇六・六九四二・二七八八
までお問い合わせください。
<http://www.otemonosaka.jp>

校友会員著作物紹介

上畑俊治著 (一九八〇年 経済学部経済学科卒)
『現役の知能派探偵が語る 愚か者達による保険金不正請求の実例!』
発行…水山産業株式会社出版部 一八〇〇円。

本学出身者対象入試
(三年次)のご案内

本入試制度は、追手門学院大学を卒業後、さらに別の分野の学習を望む向学心に溢れた本学出身者に対して、その要望に応えるために設けたものです。全学部全学科で若干名を募集いたします。

なお、入試日程等の概要は六月にホームページに掲載いたします。また、募集要項(願書)は七月上旬に配布予定です。

この件に関するお問い合わせは、入学試験課
〇七二(六四一)九六四四
まで、お願いいたします。

オープンキャンパス
開催予定

今年も開催されるオープンキャンパスの日程が次のとおり決まりました。

入試を控えられているご子息・ご令嬢、お知り合いの方に参加を勧めていただきますと共に、卒業生の方も將軍山会館をはじめとしてリニューアルしたキャン

パスにぜひご来校下さい。

- 六月二十一日(日)
- 七月十九日(日)
- 七月二十日(月・祝)
- 八月八日(土)
- 八月九日(日)
- 九月五日(土)
- 十月十一日(日)
- 十二月二十日(日)

*時間・内容等の詳細は大学ホームページまたは電話で確認してください
入試広報課 TEL
〇七二(六四一)九一六五

なお、十月十一日(日)、十二月二十日(日)入試直前相談会です。

円広志さん
オープンキャンパスに来校

七月十九日(日)オープンキャンパスに、本学卒業生であります歌手の円広志さんが来校されコンサートが開催されます。詳細は大学ホームページまたは電話で確認してください。

庶務課 TEL
〇七二(六四一)九六六八

2010年度入試日程表

入試種別	学部または学科	出願期間・エントリー期間	試験日・書類審査日	合格発表日
AO入試 (自己推薦方式)	経済・経営・社会・ 国際教養学部	(エントリー) 2009. 8.20(木)～ 8.28(金)【郵送のみ】 (第2次出願) 2009. 9.14(月)～ 9.28(月)【郵送のみ】	(第1次選考) 2009. 9. 8(火)(書類審査)	(第1次選考) 2009. 9.11(金)
AO入試 (商工・総合学科方式)	ヒューマンエコノミー・ 経営・マーケティング学科		(第2次選考)入試直前相談会開催日 2009.10.11(日) 午後(面接)	(第2次選考) 2009.10.23(金)
AO入試 (指定分野方式)	経済・経営・ 国際教養学部		午前 レポート評価実施	
公募制推薦A日程 (試験日自由選択制)	全学部	2009.10.26(月)～11. 6(金)【郵送のみ】 2009.11. 7(土)【本学窓口受付日】	2009.11.19(木) 午前 2009.11.20(金) 午前	2009.11.27(金)
論文A日程	全学部	2009.10.26(月)～11. 6(金)【郵送のみ】 2009.11. 7(土)【本学窓口受付日】	2009.11.19(木) 午後	2009.11.27(金)
公募制推薦B日程	全学部	2009.11.26(木)～12. 5(土)【郵送のみ】 2009.12. 7(月)【本学窓口受付日】	2009.12.13(日)	2009.12.18(金)
一般A日程 (試験日自由選択制)	全学部	2010. 1. 6(水)～ 1.20(水)【郵送のみ】 2010. 1.21(木)【本学窓口受付日】	2010. 2. 5(金) 2010. 2. 6(土)	2010. 2.17(水)
一般S日程 (選択方式)	全学部	2010. 1. 6(水)～ 1.20(水)【郵送のみ】 2010. 1.21(木)【本学窓口受付日】	2010. 2. 7(日)	2010. 2.17(水)
一般S日程 (英・国方式)	全学部	2010. 1. 6(水)～1. 20(水)【郵送のみ】 2010. 1.21(木)【本学窓口受付日】	2010. 2. 8(月)	2010. 2.17(水)
センター試験利用 A日程	全学部	2010. 1. 6(水)～1. 15(金)【郵送のみ】	独自試験は課さない 2010. 1.16(土) 2010. 1.17(日)	2010. 2.17(水)
一般B日程	全学部	2010. 2.12(金)～ 2.22(月)【郵送のみ】 2010. 2.23(火)【本学窓口受付日】	2010. 3. 4(木) 午前	2010. 3.11(木)
論文B日程	全学部	2010. 2.12(金)～ 2.22(月)【郵送のみ】 2010. 2.23(火)【本学窓口受付日】	2010. 3. 4(木) 午後	2010. 3.11(木)
センター試験利用 B日程	全学部	2010. 2.12(金)～ 2.22(月)【郵送のみ】	独自試験は課さない (センター試験利用A日程欄参照)	2010. 3.11(木)

平成の市町村合併に伴う 住所等の確認について

全国の多くの市町村で合併が行われ、市町名や番地表示等が変わりました。旧表示では校友会からの会報等が届かなくなり、お手数ですが、今回会員カードを同封しましたので、ご確認下さい。住所・勤務先等に変更や訂正箇所がありましたら、朱書きで訂正をしていただき、同封のハガキを投函いただきますようお願い申し上げます。

住所につきましては、都道府県コード、郵便番号は必ず明記いただきますようお願い申し上げます。都道府県コードは下表を参照願います。

勤務先につきましては業種コードにて分類していただきますので、下表にてお確かめ下さい。業種コードにつきましては、今回から新コードを採用することになり、旧コードに該当するものに置き換えています。従いまして、正しく置き換えられていないケースもありますので、ご了承いただいた上

朱書きで訂正をお願い申し上げます。
会社名の記入については、略称などは混同しますので、正しい社名をご記入願います。
本学大学院を修了された方は、下表大学院コードを参照いただき、ご確認の上訂正がありましたら、朱書き訂正願います。

編集後記

ああすれば良かった
こうすれば良いのに
ということがある。新しい会館にもそう思うところがあった。
四月から新体制。良く考えて舵を操らなければ。船頭多くして舟山に登るといふ。
理想の家は三たび建て直さないと出来ない
と聞く。
『無かったことに』
出きるものなど無いのだから。
【潤】

大学院コード一覧

大学院コード	専攻名
I 01	心理学専攻
I 02	社会学専攻
I 03	中国文化専攻
I 04	英文学専攻
J 01	経済学専攻（博士前期課程）
J 02	経営学専攻（博士前期課程）
K 01	経済学専攻（博士後期課程）
K 02	経営学専攻（博士後期課程）

業種コード一覧

業種コード	業種
A	農業
B	林業
C	漁業
D	鉱業
E	建設業
F	製造業
G	電気・ガス・熱供給・水道業
H	情報通信業
I	運輸業
J	卸売・小売業
K	金融・保険業
L	不動産業
M	飲食店・宿泊業
N	医療・福祉
O	教育・学習支援業
P	複合サービス事業（郵便局・協同組合）
Q	サービス業
R1	国家公務員
R2	地方公務員（都道府県）
R3	地方公務員（市町村）
S	分類不能の産業

都道府県コード一覧

都道府県コード	都道府県名	都道府県コード	都道府県名
01	北海道	25	滋賀県
02	青森県	26	京都府
03	岩手県	27	大阪府
04	宮城県	28	兵庫県
05	秋田県	29	奈良県
06	山形県	30	和歌山県
07	福島県	31	鳥取県
08	茨城県	32	島根県
09	栃木県	33	岡山県
10	群馬県	34	広島県
11	埼玉県	35	山口県
12	千葉県	36	徳島県
13	東京都	37	香川県
14	神奈川県	38	愛媛県
15	新潟県	39	高知県
16	富山県	40	福岡県
17	石川県	41	佐賀県
18	福井県	42	長崎県
19	山梨県	43	熊本県
20	長野県	44	大分県
21	岐阜県	45	宮崎県
22	静岡県	46	鹿児島県
23	愛知県	47	沖縄県
24	三重県	48	その他

